

次々と花を咲かせてくれます。

< 植物名 >

ベゴニア

キウコンベゴニア (球根ベゴニア)

橙・アプリコット

水やり

土の表面が乾いたら水やりをする。冬は乾かし気味に。

置き場所

日光を好むが夏は直射日光を避け、風通しの良い半日陰で育てる。

用土肥料

開花中は、リン酸が多めの肥料を与える。

植え替え

特記事項なし。

ふやし方

分球

冬越し

室内の明るい場所で育てる。

使い方 鉢植え、ハンギングバスケット

学名 Begonia

英名

属名 シュウカイドウ

科名 シュウカイドウ

性状 (分類) 多年草(球根植物)

原産地 南米

花の色 橙、アプリコット

開花期 6月～7月

購入時期

草丈 ～60cm

ID 932

季節 夏

JFコード 29123



冬越しと置き場所

日向を好むが、生育適温が15～25度の為、夏は直射日光を避け、風通しの良い半日陰で育てる。秋の終わり頃から休眠をさせて冬越しを。冬は5～10度以上必要で、室内の明るい場所で育てる。非耐寒性。

その他の解説

開花中は、リン酸が多めの肥料を与えると、花付きがよくなり長期間楽しめる。花が終わったら切り戻して、次に花を付ける新芽を伸ばしてあげる。

特徴1

次々に花が咲き、楽しめる球根ベゴニア。土の表面が乾いたら水やりをする。冬は乾かし気味に管理する。

特徴2

ベゴニア属は約2000種あると言われ、膨大な数の園芸品種があり、茎や根の形態によって木立性、根茎性、球根性の3タイプに分けられる。球根性の交雑品種群には、大輪から懸垂性品種まである。また球根ベゴニアは、適温で日長が14時間以上あれば次々と花が咲く。しかし秋になり日が短くなると、葉は緑を保ったままだが生長点が枯死する。その後地上茎が枯死し、最下位節の腋芽が次の世代の生長点になる。